

日 時： 令和元年12月19日（金）18時30分～19時30分

場 所： 校長室

出席者： 委員 森田 英嗣（大阪教育大学理事・副学長）
新崎 国広（大阪教育大学教授）（欠席）
竹村 伍郎（NPO法人 まち・すまいづくり理事長）
浅田 千鶴（同窓会副会長）
中川 哲也（元PTA会長）（欠席）
高谷 実穂（現PTA会長）

事務局 山崎 晃昭（校長）、藤原 隆志（教頭）、山崎 義文（事務長）、伊勢田 佳典（首席）、
山口 優（首席）、涇口 修司（記録係）

I. 挨拶

- ①校長より
・あいさつ

II. 学校からの説明・報告

- ①平成31年度「学校経営計画」の進捗状況等について
- ◆2022年度からの新学習指導要領の実施にむけて、校内での新しいカリキュラム編成のための検討・準備がスタートした。2020年度中には完成する予定である。
 - ◆「大学入試英語成績提供システム」は見送りとなった。しかし、今後の大学入試における「英語4技能」を重視する流れは変わらないものと見ている。よって、現行の1・2年生の「GTEC」校内・全員受験は続けていく。ただし、年2回実施であったものを、1回（12月に実施）とする。生徒の英語運用能力を高めるためのプログラムは、高津高校では入試改革などがとりざたされる以前から積極的に取り組んできた。それをさらに進展させる形で対応していきたい。
 - ◆大学入学共通テストへの国語・数学の記述問題導入も見送られることとなった。高津高校では、両教科において、もともと難易度の高い記述型の問題に対応できる取組み・実践を重ねてきているので、問題は無い。
 - ◆生徒向けの「授業アンケート」第2回分の集計結果が本日届いた。アンケート項目の中の「内容に興味・関心が持てた/知識や技能が身についた」の平均点は3.35（第1回、3.30、満点は4点）と向上した。
 - ◆センター試験、72期生は350人が受験する。ほぼ例年並みの人数。
 - ◆今月7日に「GTEC」の2回目が実施された。結果待ちの状況である。また、夏休みに実施した「KITEC」に対する生徒の満足度は98%をこえている。
 - ◆今年度、2年生（9クラスすべてが文理学科）全員が課題研究に取り組むことになった。1/31の「校内生徒研究発表会」に向けて研究・指導ともに進めている。同窓会などからもさまざまな支援をいただいている。
 - ◆「創造探究事業」も、1・2年生全員がかかわるものとなり、規模や内容を充実・発展させながら取り組んでいる。生徒たちも積極的・意欲的に参加し、成果をあげてくれている。
 - ◆「体験型進路学習」もより一層の充実をはかりながら実施し、成果も上がっている。
 - ◆年間の総遅刻数を2,000件以下にする（2021年度までに）という目標をかかげて指導している。今年度、11月末現在で1,334件である。
 - ◆教員の教科指導力をおしはかるものとして、「授業アンケート」の全項目平均値があるが、全教員の平均値が第1回分は3.31、第2回分は3.37（満点は4点）となった。

III. 質疑応答

Q1：「創造探究事業」について、ひとつひとつのイベントなどに教員は付き添うのか。「課題研究」というのはどのように行われているのか。

A1：すべてに付き添うことはない。申し込みもQRコードなどで生徒個人が申し込み、レポートも各自が仕上げで提出する。課題研究は、週1回、2時間連続の授業で行っている。

Q2：自身のかかわる団体の企画やテーマ設定などに、高津の教員の知恵を借りたい。また、地域支援などの分野についても。そして、実施される企画・行事などを「創造探究事業」に加えてもらえれば。

Q3：さまざまな発表・プレゼンテーションにおいて、英語での発表を行っているか。是非やってみてはどうか。

Q4：国際交流センターに国費留学の学生たちが集っている。その学生たちと交流してみてもどうか。高津の立地

は、ある意味でさまざまな「語学環境」に恵まれている。それを積極的に活用してみてもどうか。おもしろい考える。

Q5：体験型進路学習の職場訪問について、事前に、生徒たちがどんな職種・職場に興味があるか、訪問の希望があるかを聞いてみてほしい。それをもとに紹介先を探すと効率がよいし、効果も上がると考える。

Q6：それについては、同窓会としても、卒業生がかかわる事業所の紹介などで協力したいと考えている。

IV. その他

・今後の学校運営協議会については決定次第連絡。

第3回：令和2年 3月下旬